

サイタマレディース探検隊「県庁の星・部長の輪！」シリーズ

第4回 埼玉県 県民生活部長 土屋 綱男 様 平成23年4月12日取材

県庁の星シリーズ4人目にご登場いただいたのは、前回の星野環境部長よりご紹介をいただいた土屋綱男県民生活部長です。農林・環境・保健医療など、他の部は名前から何をやっているところかが推測できますが、「県民生活部ってどんなところ？」と興味津々で突撃しました。



〔県民生活部は何を行っている部署なのでしょうか？〕

保健や税などは、生活に必要なもので、その活動が停滞すると日常生活に大きな支障が出ます。県民生活部が行っているのは、実際なくても生きていける分野です。言い換えれば、人間らしい生活を送るための潤いや生きがいなど、生活にプラスアルファとなっている部分にかかわっています。

例えば、文化の振興、女性の地位向上、青少年の健全育成、埼玉県の魅力発信などです。具体的には、男女共同参画・青少年健全育成・NPO・文化振興・広報公聴といったことです。

〔女性の地位向上について〕

今年度の部の課題として「ウーマノミックス」を挙げています。ウーマノミックスは、ウーマンとエコノミックスからきた言葉で、女性の力をどう生かしていくかということです。女性の就業率を示すグラフは、M字カーブ（30代の就業率が他の年代に比べて低い）を描いていますが、埼玉県は他県と比較して、底が深く子育て期間の女性の就業率が低いのです。女性が活躍できる場を増やす、男性が女性の力を活用しようとする、といった社会にしたいと考えています。具体的には、女性の雇用を2万人増やすのが目標です。その為には、女性が再チャレンジできる世の中にする、仕事を辞めずに育児介護に専念できる制度の拡充を図るといったことはもちろん必要ですが、女性自身にも、会社に必要とされる存在になるという意識を持って働くことが求められるのではないのでしょうか。

〔女性の地位向上のため企業に対しての支援は？〕

県が個別の会社に対して、女性の研修や教育のための費用を直接支援することはむずかしく、国が行っている助成金を利用してもらうことになります。県としてはメニューを用意して来てもらうという形になりますが、男性管理職が女性に期待していることを知らせていく、女性にも発表の場を与えるということが大切です。

〔サイタマレディースに期待すること〕

女性が社会で活躍することが大事だということを発信してもらいたい。これから人口が減少していく中でどうしても女性の力が必要になります。サイタマレディースの経営者の方々の会社は、女性が働きやすい職場だとアピールしてもらいたい。

〔結びに〕

会員からは、経営者の立場から見て女性の育成は難しく、会社への費用援助があれば、もっと時間もかけて育成ができるという声が聞かれました。また、女性自身にもライフデザインを考えてもらいたいといった意見も出ました。

今回は女性経営者の訪問ということもあり、女性の就業に関することが主な話題となりましたが、この他にも、

県民生活部では、NPO 活動の支援や文化の振興、また埼玉県の魅力発信のために冊子を作成するなど、私達の生活をより豊かにするために様々なことに取り組んでいます。

